

# 市民活動 ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

2001年 4 月号

平成13年3月25日発行

発行◆

【3月31日まで】 514-0004 津市栄町1丁目954三重県民サービスセンター4階三重県市民活動センター Tel.059-224-2644 Fax.059-224-2072

【4月1日以降】 514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター Tel.059-222-5981・5982・5983  
Fax.059-222-5971

E-mail open@mienpo.net

県NPO室ホームページ◆<http://www.mienpo.net/>

ボランティア国際年



2001

2001年はボランティア国際年です。



ボランティア国際年の  
マスコットキャラクターです。

【NPO室から】

4月1日、三重県市民活動センターは津駅ビル「アスト津」に移転します。

## 県内の市民活動 イベントのスケジュール

4月～5月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

### ネットワークのよびかけ

今月のよびかけは8件です。

### 助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。  
今月号は3件の情報を掲載しています。

### NPOリレーインタビュー

社会福祉法人おおすぎ理事・翔の会(おおすぎ発起人会)会長 にしむらひろき 西村博機さん

14年前、自閉症児である息子さんのために施設をつくろうと活動を始めた西村さん。この4月、その努力が実り、念願の施設を開設します。長い年月、たくさんの人に支えられてきた西村さんはいつしか、「自分の子どものために」という意識を「みんなのために」と変化させていきました。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

## 市民活動に関する 講演会やイベントです

【NPO室より】

### みえ市民活動ボランティアセンター オープン!

4月1日に、三重県市民活動センターはアスト津(津駅ビル3階)に移転し、みえ市民活動ボランティアセンターとして新規オープンします。NPO室も同じ場所へ移転します。

みえ市民活動ボランティアセンターは、個人でも団体でも気軽に利用できる、市民活動、ボランティアの交流広場です。多様な市民活動がもっと活発になるように支援すると共に、市民、企業、行政が協働して住み良い地域づくりをすすめることを目的としています。地域や分野を越えた市民活動、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのためのキーステーションです。

#### センターにはこんなものがあります

##### ■「イベント情報コーナー」

ボランティア、市民活動に関するイベントや公開講座、ラジオの公開録音、ギャラリーとしての利用など、幅広く利用できます。

##### ■「ミーティングルーム・交流スペース」

あらゆる分野の市民活動やボランティア活動のためのスペースとして自由に利用できます。

##### ■「ワークスペース」

会誌やチラシを作成する場所です。印刷機、紙折り機、コピー機などを設置しています。

##### ■「プレールーム」

打ち合わせや作業の間、お子さまを遊ばせる場所です。

##### ■「図書資料コーナー」

国際交流や青少年問題、市民活動(ボランティア)に関する図書の閲覧、貸出を行います。

##### ■「掲示スペース」

ボランティアや市民活動、行政情報の情報発信板です。仲間募集やイベント情報発信などに活用できます。

##### ■「ロッカー」

活動に必要な印刷用紙、事務用品などの保管場所として利用できます。

##### ■「メールボックス」

グループ内、グループ相互の連絡情報発信、郵便物、FAXの受け取りに利用できます。

### 三重県市民活動センター運営委員会からのお知らせ

新規オープンにともない市民活動センター運営委員会では、今後のあり方についての検討を含んで運営委員会を開催します。参加は自由ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

●とき／4月10日(火)PM7:00～PM9:00

●ところ／みえ市民活動ボランティアセンター 交流スペース

●内容／

1・はじめましての顔合わせ。同じフロアに入る各機関や、センターの嘱託職員さんたちにも参加していただきます。

2・運営委員会のあり方について

3・センター利用のルールその他

### NPOバリアフリースタジオ「同夢」設立総会

●とき／4月1日(日)PM2:00～

●ところ／名張商工会議所

(名張市南822-2 Tel.0595-63-0080)

●内容／全ての人々がその人個人にあった生き方ができる社会を実現するために、制度面・物理面・意識面のバリアについて共に考え、活動していきます。

●申込・問い合わせ先／代表・孫美知 上野市四十九町1278-26 Tel.0595-23-9513 E-mail son@aqua.ocn.ne.jp

「JR新大久保駅 李秀賢さん、関根史郎さんを悼む」

J・K・C(ジャパン・コリア・チャイナ)友好音楽会

### 劉鋒 胡弓リサイタル

●とき／4月7日(土)PM2:00～、PM6:00～(2回公演)

●ところ／近鉄久居駅・ポルタひさい3階 市民ふれあいセンター  
Tel.059-259-0377

●参加費／前売り3500円、当日4000円

●内容／心に響くふるさと、愛の調べ。何よりも心の豊かさが問われる昨今、音楽を通じて日・韓・中の心の交流を深めていきたいと願っています。〈演奏予定曲目〉荒城の月、月の砂漠、赤とんぼ、里の秋、浜辺の歌、TUNAMI、川の流れるように、花、シューベルトのセレナーデ、シルクロード、チャルダナーシュ舞曲、空山鳥語、二泉映月、寶馬、イムジン河

●申込・問い合わせ先／特定非営利活動法人JKCアート  
Tel.059-293-5144 Fax.059-293-5247

E-mail kouho@zvtv.ne.jp

ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/kouho>

●主催／特定非営利活動法人JKCアート

●後援／三重県教育委員会、久居市教育委員会

### <地球環境セミナー>

### 美しい地球を子供たちに

【四日市市】

●とき／4月7日(土)PM2:00～PM4:30

●ところ／ばんこの里会館多目的ホール

(四日市市陶栄町4-8 Tel.0593-30-2020)

●参加費／前売り1000円、当日1300円

●内容／「持続可能な社会の実現に向けて」をテーマとして、世界中を飛び回ってきた上村雄彦さん(奈良大学教養部専任講師、ネットワーク『地球村』講師)に、身近な環境問題から地球規模の問題までさまざまな経験を通してお話していただきます。

●申込・問い合わせ先／タンゲ Tel.&Fax.0593-47-6317  
カサイ Tel.&Fax.0593-32-2876(PM7:00～PM9:00)

●主催／津・四日市「地球村」

●後援／三重県、三重県教育委員会、三重県環境県民会議

【津市】

●とき／4月14日(土) PM1:30～PM4:30

●ところ／三重県総合文化センター 三重県文化会館中ホール  
(津市一身田上津部田1234)

●参加費／前売り1000円 当日1500円 前売りペア(2名様)1800円 託児あり(要予約有料)

●内容／今、地球環境の悪化が様々な方面で話題になっていますが、そうしてしまった犯人は一体何なのでしょう。原因はどこにあるのでしょうか?これから地球は、私たちの暮らしはどうなっていくのでしょうか?赤ちゃんに母乳をあげるっていいことでしょうか?花粉症は不幸でしょうか?無農薬野菜って安心な食べ物ですか?「リサイクル」は資源の有効利用という点でベストな選択でしょうか?「え、ちがうの?」と思われた方におすすしたい講演会です。思いきり笑って気持ちがほぐれる講演会です!!講師はネットワーク『地球村』代表の高木善之さん。

●申込・問い合わせ先／カシイ Tel.(携帯)090-6337-2377 Fax.0598-28-5849 宮崎 Tel.(携帯)090-1239-7512 Fax.059-256-0398

E-mail hisaichikyumura@webtv.ne.jp ホームページ  
http://homepage.webtv.ne.jp/hisaichikyumura/

●主催／ひさい「地球村」

●後援／三重県、三重県教育委員会、津市、津市教育委員会、久居市、久居市教育委員会

## 知って味わう中国茶の会

●とき／4月20日(金)AM10:00~正午

●ところ／フードファイター倶楽部事務局  
(四日市市尾平町3689 生川宅)

●参加費／800円(お茶とお菓子付)

●内容／中国茶はお茶の原点。その数ははっきりしないほど多いようです。今話題の中国茶を、体にやさしいお菓子と共に楽しみませんか?コーディネーターは鈴木真理さん、後藤明子さんです。

●募集人数／10人

●申込方法／直接Tel.またはFax. でお願ひします。

●申込・問い合わせ先／特定非営利活動法人フードファイター倶楽部 四日市市尾平町3689 Tel.0593-32-6452 Fax.0593-33-8068 E-mail ffc@passage.ne.jp

津市社会福祉協議会・

三重県身体障害者総合福祉センター 共催事業

## 身体障害者ボランティア勉強会

●とき／4月21日(土)PM1:00~PM3:00

●ところ／津市社会福祉センター1階大会議室(津警察署裏の建物)

●参加費／無料

●内容／テーマは「コミュニケーションの取り方」。日頃ボランティア活動をされている皆さん、身体障害を持った方とのコミュニケーションの取り方、介助の仕方等、困ったり悩んだりしたことはありませんか?また、ボランティアをしてみたいと思っているけど不安のある方、皆さんで悩みや素朴な疑問を話し合う機会を持ちませんか?三重県身体障害者総合福祉センターのスタッフが皆さんと一緒に勉強し、専門的なことも分かりやすくお話ししたいと思います。また、さまざまな意見や情報を交換し、今後も交流を深めていきましょう。

●応募締切／4月15日(日)(定員になり次第締切)

●募集人数／30人

●申込・問い合わせ先／三重県身体障害者総合福祉センター生活援助棟 Tel.059-231-0037

三重・チェルノブイリ被曝児童救援募金

## チェルノブイリ15周年救援コンサート

●とき／4月22日(日)PM2:30~PM4:50

●ところ／三重県総合文化センター文化会館大ホール

●参加費／一般1500円(当日2000円)、高校生以下500円(当日700円)

●内容／チェルノブイリ被曝後遺症とたたかう子ども達で作っている民族音楽団「チェルボナ・カリーナ」を招いてチャリティーコンサートを開催します。交流のある三重県高等学校文化連盟、津児童合唱団、久居少年少女合唱団、聖ヤコブ幼稚園の皆さんなど三重の子ども達・若者達、フォトジャーナリストの広河隆一さんも共演します。

●申込み・問合せ先／三重・チェルノブイリ被曝児童救済金事務局 Tel.059-229-7997

●主催／三重・チェルノブイリ被曝児童救援募金、チェルノブイリ子ども基金(東京)

## ボランティア国際年協賛事業

であい、ふれあい、たすけあい

## あいあい祭り2001

●とき／5月3日(祝)AM10:00~PM3:00(雨天決行)

●ところ／亀山市総合保健福祉センター『あいあい』

●参加費／無料

●内容／ふれあい体験や模擬店、ボランティア交流会等盛りだくさんの内容です。

【予定】いきいきサロン、車いすのウォークラリー、子どもとの遊び、竹のプランターと竹花器づくり、わらぞうり作り、点訳、朗読、つくしの家とのふれあい、バリアフリー推進障害体験、工作、踊り、南中ソーラン踊り、アイミーちゃんと遊ぼう、マジックショー、モンキーブリッジとロープワーク、ポップコーン、みたらし、カレー、焼そば、うどん、味ごはん、フランクフルト、綿菓子、里山パンケーキ、コーヒー、ジュース、おにぎり、射的、サイコロゲーム、青果店、餅つき、ボランティア交流会など。

●申込・問い合わせ先／亀山市社会福祉協議会  
Tel.05958-2-7985

●主催／ボランティアフェスティバル実行委員会

●後援／亀山市

## 三重いのちの電話 開局記念式典&講演会

●とき／5月12日(土)PM2:30~

●参加費／無料

●ところ／三重県女性センター(津市一身田上津部田1234)

●内容／開局記念式典の他、三重いのちの電話連盟理事長・樋口和彦さんによる講演会を開催します。

●申込み・問合せ先／特定非営利活動法人 三重いのちの電話協会  
Tel.059-213-3795 Fax.059-213-3796

## 人と自然のふれあいエコウォーク 松阪ちとせの森

●とき／5月13日(日)AM10:00~PM2:00(小雨決行)

●ところ／本居宣長奥墓駐車場(松阪市山室町松阪ちとせの森)集合

●参加費／無料

●内容／春の息吹を感じながら雑木林を散策しましょう。集合場所は駐車スペースが少ないのでできるだけ相乗りで参加してください。なお、行事中のケガについては応急手当をしますが、事故などについての責任は負いかねますので、ご了承ください。

●持ち物／弁当、水筒、雨具、筆記用具、ハイキングのできる服装

●応募締切／5月5日(土)

●申込方法ハガキまたはFaxにて「人と自然のふれあいエコウォーク」参加申込とし、住所、電話番号、参加者全員の氏名、年齢を書き、申込ください。

●申込・問い合わせ先/  
514-0003 津市桜橋1-31  
(社)三重県緑化推進協会  
Tel.059-224-9100  
Fax.059-224-9118  
515-0072 松阪市内五曲町34  
木原寿代  
Tel.&Fax.0598-23-0856



## ネットワーク のよびかけ

### 津市市民活動センターの運営について

4月中旬から、津センターパレス2階、3階に津市市民活動センターが開設されます。このセンターは「官設、市民館」として、市民の手によって運営されることになりました。

運営の受け皿としての「運営委員会」への参画を、津市内で活動する市民活動団体に呼びかけたところ、これに応えた9団体によって、「津市市民活動センター運営委員会」が2月20日に発足しました。参加グループは、青空、彩り会、こもれびセンター、障害者自立ネットワーク、地方自治ベースキャンプ、新世紀・新しい港とまちづくりを考える会、女性問題研究会TSU・アイリス、津こどもNPOセンター、津市民ネットワークの9団体です。

4月中旬のオープンに間に合わせるため、運営委員会を急いで発足しましたが、さらに多くの参画を求めるため、4月27日まで参画する市民団体を募っています。希望される団体があれば、下記にご連絡ください。

#### 【市民活動オフィスの貸し出しのご案内】

〈市民活動オフィス〉…津市市民活動センターの3階フロア奥には、市民活動オフィスがオープンします。ここでは、市民活動団体の事務所として使用できる、約2.5メートル四方のデスクスペースが19ブース貸し出されます。利用料金は月5000円で、半年間の利用を基本とします。但し、事務スペースとして活用することが条件で、資料、備品置き場としての利用はできません。利用対象は、津市に事務所または活動の拠点を有する市民活動団体です。希望団体が多数の場合は、津市での活動状況やその必要性を運営委員会において勘案した上で選定します。利用希望受け付け期間は4月1日から16日まで、利用開始は5月1日からです。

〈会議室・ロッカー・レターケース〉…3階にはオープンスペースのふれあい広場、2階にはフロアの半分以上を占める市民オープンステージと大1、小3の会議室があります。ふれあい広場は、小人数のグループなら同時にミーティングできるスペースで、事前の予約は不要です。また、52個の鍵付きロッカー、54段のレターケース等も利用できます。会議室、市民オープンステージの申込開始は4月1日、利用開始は4月10日からです。

●申込・問い合わせ先/3月30日まで…津市市民ネットワーク事務局(津市市民活動センター仮事務局)

Tel.059-213-5543 Fax.059-213-5550

4月1日以降…津市市民活動センター事務局 津市大門7番15号 津センターパレス3階 Tel.059-213-7200

### 三重県と「NPO俳句みえ」の協働事業による やさしい俳句 スクーリング生募集

三重県が進めている「俳句のくに三重」の創造事業のお手伝いとし

て、俳句スクーリングを実施いたします。俳句の初心者ばかりの集まりです。みんな仲良く俳句づくりを楽しんでいます。俳句でくづくり、まちづくり、ひとづくりをめざします。自然に心を寄せ、感性を高め、心豊かにする、みんなのふれあいの場です。時間は午前の部AM10:00~正午、午後の部PM1:30~PM3:30です。

【桑名会場】桑名市民会館 毎月第1・3水曜日

※4月18日(水)開講 午前の部・午後の部

【四日市会場】四日市市文化会館 毎月第2・4土曜日

※4月14日(土)開講 午前の部・午後の部

【鈴鹿会場】鈴鹿市文化会館 毎月第1・3金曜日

※4月20日(金)開講 午前の部・午後の部

【津駅会場】津駅前ビル アスト津3F 毎月第2・4火曜日

※4月10日(火)開講 午前の部・午後の部

【津会場】津市敬和公民館 毎月第2・4金曜日

※4月13日(金)開講 午前の部のみ

【久居ポルタ会場】久居駅ビル3F 毎月第2・4水曜日

※4月11日(水)開講 午前の部のみ

【久居中央公民館会場】毎月第2・4木曜日

※4月12日(木)開講 午後の部のみ

別に吟行会、研修会などを行います。

●参加費/無料(ただし教材費300円程度実費徴収)

●対象/誰でも自由に参加できます。ただし1年間続けられる人。

●募集人数/各会場20人

●応募締切/各会場とも定員になり次第締切

●申込・問い合わせ先/514-0004 津市栄町1-954 三重県民サービスセンター4階 三重県市民活動センター気付 俳句スクーリング Tel.&Fax.059-255-2651(光野)

●主催/NPO俳句みえ「俳句スクーリング」、三重県(協働事業)

●後援/三重県、四日市市教育委員会、久居市教育委員会

### 4月 放送開始 「What's up In Kuwana?!

桑名ってどんな街?そんな問いに「What's up In Kuwana?!」がお答えします。今桑名で何が起きているかをさまざまな角度から捉えます。桑名で活躍している市民活動団体、ボランティアグループの皆さんも出演し、週末イベント案内・地域活動紹介・グルメ情報など内容盛り沢山の5分間です。

●番組詳細/FMポートウェイブ(76.8MHz)で4月から毎週金曜日PM6:00~PM6:05の放送。また番組ではインターネットラジオも開局。アドレスは<http://www.watashi.gr.jp/fm/> 桑名の最新情報はこちらでチェックしてください。

### 私たちの住むまちのボランティア・市民活動・NPOの名簿作りに参加しませんか?

2001年ボランティア国際年を機縁として、鈴亀地域(鈴鹿市、亀山市、関町)のボランティア・市民活動・NPOの名簿をつくります。ボランティアの視点から直接聞き取り調査を行って、鈴亀地域で活動する人や、団体の情報がこれでわかるというような、今までにない横断的な名簿にしたいと考えています。名簿の内容、取材方法などはこれから決めていきますので、ご意見をお聞かせください。第1回制作企画会議を次のとおり開催します。ご参加お待ちしております。

●とき/4月14日(土)PM1:30~

●ところ/亀山市総合保健福祉センター2階研修室 亀山市羽若町545番地 Tel.05958-2-7985

●申込・問い合わせ先/ボランティア国際年鈴亀会議事務局(三谷) Tel.0593-52-0762, Fax.0593-52-0765

●主催/ボランティア国際年鈴亀会議(亀井、井田、明石)

伊賀の森と水の恵みを子どもたちに

## 「自然学校 はじっこクラブ」 スタッフ募集

「自然学校 はじっこクラブ」は自然や子育てや地域作りに関心があるスタッフが今春設立したばかりの市民団体です。



伊賀の自然豊かな環境の中で、子どもたちを中心にした自然体験活動を実施していきます。

伊賀は自然の宝庫です。布引山地から流れ出す淀川の源流があります。その流れは地域の暮らしを支えてきました。天然記念物のオオサンショウウオ(地元の呼び名は「はじっこ」といいました)をはじめ、希少な動植物の宝庫でもあります。ぶな林をはじめとする緑豊かな森林があります。また、炭焼き、わら細工、山菜料理など自然とのかかわりの中で培ってきた地域の伝統文化が残っています。子どもたちを野外に誘い、自然の中で、光を浴び、森に入り、清流にふれ、地域の文化に親しむ。それが自然や地域を愛する子どもの育成や、地域のネットワーク作りにつながることを願い活動していきます。

「自然学校はじっこクラブ」は同じ思いをもった仲間が作りあげていく市民グループです。企画から運営にいたるまで、私たちと一緒に自然学校を作っていきますか?

自然の中での活動や子どもと一緒に遊ぶのが好きな人、子育てやまちづくりに関心がある人を募集しています!

●申込・問い合わせ先/「自然学校 はじっこクラブ」事務局  
(担当/林辰久) 518-0205 青山町伊勢路643  
Tel.0595-52-2570

## 志摩サイバーベースセンター「研究開発室」 入居者募集(1次募集)

三重県では、複数の大容量超高速光海底ケーブルが志摩地域に陸揚げされる地域特性を生かし、地域経済の活性化、地域振興を図る「志摩サイバーベース・プロジェクト」を推進しています。

このプロジェクトの一環として、情報技術の研究開発とITベンチャーの育成を行うとともに、地域の情報化、情報関連産業の振興を図るため、「志摩サイバーベースセンター」を整備しました。

つきましては、以下によりセンター内「研究開発室」の入居者を募集します。

1.入居対象者…次のいずれかに該当する方。

(1)情報関連技術分野(※1)で、新規性及び成長性のある新事業を研究開発している、もしくはこれから研究開発しようとする個人または企業の方

(2)情報関連技術分野の研究開発を行おうとする団体

※1…情報関連技術分野とは

- ・コンピュータを利用した、映像・通信技術等の研究開発・高精細な映像の加工・制作業務・放送・通信業務
- ・情報処理技術を利用した最新の製品研究開発
- ・情報関連技術を利用した先端技術型事業
- ・情報産業を対象としたビジネス支援事業、人材育成事業

2.施設名称…志摩サイバーベースセンター内「研究開発室」

●申込受付締切/4月13日(金)AM9:00~PM5:00

●問い合わせ先/三重県地域振興部情報政策課 デジタルコミュニティ推進グループ(別所・岡本)

514-8570 津市広明町13番地

Tel.059-224-2797・3362 Fax.059-224-2207

E-mail johos@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/JOHOS/plan/scbp/index.htm>

## 「奏太のふしぎ2」制作スタッフ募集

平成12年12月10日(日)三重県鈴鹿山麓研究学園都市センター「きららホール」にて、電子紙芝居「ぼく強くなくてもいいよ・奏太のふしぎ」を上映しました。大好評につき、「ぼく強くなくてもいいよ・奏太のふしぎ2」を企画しました。

1・自分で電子紙芝居を画いてみたい方、初めての方も経験者も一緒に画きましょう。

2・この企画のどこかに関わってみたい方(脚本・受付・編集・舞台・広報・やりたいこと、やれること)を大募集しています。

3・あなたの才能をぜひ活かしてください。

4・どんなことでも受け付けます。

※報酬はありません。活動の収益金は、DVシェルター設置基金に積み立てています。

【「ぼく強くなくてもいいよ・奏太のふしぎ2」上映の予定】

●とき/12月16日(日)PM2:00~PM3:30(リハーサル 11月25日(日)AM9:00~PM5:00)

●ところ/三重県鈴鹿山麓研究学園都市センター「きららホール」

●申込・問い合わせ先/NPO「きらめき・ねっと」代表・稲岡  
Fax.0593-55-3984、事務局Fax.0593-33-0770、携帯090-7439-1504(林) E-mail haruru@fine.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~syaron/>

伊勢・鳥羽・志摩ガイドブック

## 「おでかけチェアウォーカー 車椅子で遊びに行こう!」が完成!

伊勢ばりふり団編集、伊勢志摩NPOネットワークの会発行「おでかけチェアウォーカー 車椅子で遊びに行こう!」(A4版・50ページ・定価200円)が完成しました。伊勢・鳥羽・志摩地区の車椅子で遊びに行ける飲食店、施設、トイレ情報などが満載。掲載地域の主要な書店で好評発売中です。

●通信販売/本代+送料160円で郵送します。事務局までTelかFaxでお申し込みください。料金は到着後お振り込みください。

●伊勢ばりふり団のホームページ/<http://www.barifuri.com>  
「おでかけチェアウォーカー」のできるまでや冊子に掲載しきれなかった施設・飲食店の数々をアップしていきます。

●問い合わせ先/伊勢ばりふり団事務局  
(担当/斉藤まりこ)

516-8581 伊勢市黒瀬町1323-4

(御木本製薬株式会社本社敷地内)

Tel.0596-20-6616

Fax.0596-20-6617

E-mail ponpon@mint.or.jp



## フリーマーケット情報

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

●とき/毎月第4日曜 4月22日(日)AM10:00~PM3:00

●ところ/近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上

●問い合わせ先/久居フリーマーケット連絡会 Tel.059-252-2117

【中勢フリーマーケット協会の予定】

●3月31日(土)、4月1日(日)AM9:00~PM4:00

おいん鈴鹿産業まつり 鈴鹿文化会館周辺 1ブース1500円

●4月8日(日)AM9:00~PM3:00

津春祭り たかとら像のある公園で 1ブース1500円

●4月15日(日)AM9:00~PM3:00

鈴鹿ハンター横 弁天山公園 1ブース1500円

●4月21日(土)、22日(日)AM9:30~PM3:00

メッセウイングみえ 1ブース1500円

●5月12日(土)AM9:30~PM3:00

メッセウイングみえ 会員2000円 一般2500円

●5月12日(土)、13日(日)AM9:30~PM3:00

河芸町 杜の街 1ブース会員1300円 一般1500円

●5月20日(日)河芸サンシティー開発記念イベント

車ブースのみ 会員1800円 一般2000円

●申込方法/出店、会員申込とも、直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。

中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921

●問い合わせ先/安芸郡河芸町2434-5

中勢マーケット協会 Fax.059-245-2536

Tel.(携帯)090-7027-4334

『平成13年度会員募集』

新規会員は入会金1000円と年会費1500円を振り込んでください。更新会員は年会費のみ。

## 助成金 ニュース

### 平成13年度 公益信託 四日市市民活動ファンド 助成先募集

●受付締切/5月7日(月)PM5:00必着(郵送または持参)

●助成の目的/より多くの市民活動団体が自分たちの活動を社会に発信すること、市民活動団体が人材や資金などの社会資源を獲得して、公益的活動を継続して行くことを通じ、市民が自己の責任のもとに主体的に活動する社会を実現するためのきっかけづくりを行う目的で設立された助成制度です。

●助成の対象となる団体/(次のいずれにも該当すること)

1.公益を目的とした非営利活動を行っている団体または始めようとする団体

2.四日市市を中心に活動する団体

ただし、宗教活動や政治的活動を目的とした団体は対象から除きます。

●助成の対象となる活動/

【立ち上がり期助成】

公益を目的とした非営利活動を始めようとする団体あるいは活動をしている団体が自分たちの活動を社会に発信するため行う公益的事業(事業範囲が四日市市中心であること)

【確立期助成】

公益を目的とした非営利活動を行っている団体の公益的事業で、資金の確保や運営体制の確立などその事業を行うことが、今後あるいは将来的に、団体が自立して活動を継続していく上で極めて効果的であると判断される事業(事業範囲が四日市市中心であること)

●助成対象事業の期間/平成13年6月1日~平成14年4月30日

●助成の額/

【立ち上がり期助成】5万円以内(総事業費の90%以内)×年間10団体以内。助成回数は1団体1回限り。

【確立期助成】総額250万円程度(総事業費の80%以内)、年間4団体以内。助成回数は1団体3回以内。

●応募方法/立ち上がり期助成は「助成金交付申請書」「事業計画書」、確立期助成は左記に加えて「事業予算書」「団体概要書」を提出。助成内容の詳細、詳しい手続き等は下記にお問い合わせください。なお、申請者には5月19日(土)に公開の場で事業の企画に関するプレゼンテーションを行っていただく予定です。

●問い合わせ先/四日市市民活動センター(担当/伊藤、永田)

510-8650 四日市市蔵町4-17(旧納屋小学校2階)

Tel.0593-50-0201

### 財団法人電気通信普及財団 福祉、文化事業援助

●受付締切/5月23日(水)必着

●助成の目的/広く電気通信を普及、発展させることにより、高度情報社会の健全な進展を図り、わが国社会経済の発展に寄与することを目的として

1 電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究調査

2 電気通信技術に関する研究調査

3 電気通信を利用した福祉、文化事業

4 電気通信に関する学術交流及び国際協力に対して助成援助を行っています。今回はこの4部門のうち、3、4に対する援助を受け付けます。

●助成の対象となる活動/

(3)電気通信に関するシンポジウム、セミナー開催及び電気通信の普及、振興に著しく貢献する事業。

(4)電気通信を利用したボランティア活動。

※(1)(2)(5)(6)に関しては援助先が大学など専門機関や研究者となるため略しました。詳細を知りたい方はホームページをご覧になるか、直接問い合わせてください。

※財団法人電気通信普及財団の「電気通信を利用したボランティア活動に対する援助」は、都道府県社会福祉協議会からの推薦は1団体とされており、申し込み多数となった場合は、三重県社協にて審査をさせていただきます。

●申込方法/三重県ボランティアセンターより、申請書を取り寄せるか、(財)電気通信普及財団のホームページからダウンロード(<http://www.taf.or.jp/>)し、必要事項を記入の上、三重県ボランティアセンターに送付。

●申込先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階みえ市民活動ボランティアセンター内 三重県ボランティアセンター Tel.059-229-6634(担当 野村)

### 富士フィルム・グリーンファンド助成金

●受付締切/5月21日(月)(消印有効)

●助成の目的/多くの生きものたちの生活の場である緑を確保し、保全するとともに、私たち生きものたちとのふれあいを積極的に創りだそうと活動している人々に対し、その一層の発展を目的とした活動助成を行います。また、自然環境の保全・活用に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究などを行っている個人や団体に対し、今後の研究の一層の充実を目的とした研究助成も行います。

●助成の対象となる個人または団体/申請者の資格は問わないが、次の条件を満たすもの。

「個人の場合」助成金の使途が助成の趣旨にのっとり、適格・厳正であり、当該事業に係わる施設の利用や助成金の使途などの面で、本人あるいは親族など特別な関係のある者に特別な利益を与えない者。

「任意団体の場合」代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が、特定の者、あるいは特別の関係者などの意思に従わずに、決定・運営されている団体。また、特定の者などに特別な利益を与えていない団体。

●助成の対象となる活動/上記の目的に合致した「活動」あるいは「研究」で、次の条件を満たすもの。

(1)具体的に着手の段階にある活動や研究。

(2)営利を目的としない活動や研究。

(3)活動助成の場合は、緑地ができる限り申請者(活動団体)によってすでに確保されているか、もしくは、行政機関などの計画により近い将来確保される可能性が高いもので、そこでさまざまな活動を展開している、あるいは今後展開しようとしているもの。

(4)活動及び研究が行われるフィールドが日本国内であること。

●助成対象事業の期間/助成金贈呈日より1年間としますが、助成金を2年間にわたって利用することも認めます。

●助成の額/「活動助成」「研究助成」を合わせて助成金額は650万円。助成件数は3件程度。

●応募方法/ハガキまたはFAXに住所・氏名・電話番号・活動助成あるいは研究助成の別を明記し、下記まで応募要項を請求してください。

●問い合わせ先/公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局 110-8676 東京都台東区下谷3-10-10 SN入谷ビル 財団法人自然環境研究センター内 Tel.03-5824-0960 Fax.03-5824-0970

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人や、その他の法人などの情報を収集し、その活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。

<http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。自宅でのホームコンサートの他、様々な活動をされている宇仁田さんが紹介して下さったのは、自閉症者の親の会をきっかけに施設づくりへの夢を実現された西村博機さんです。

## 自閉症の人たちが社会の構成員として尊重され、豊かな人生を送ることのできる施設を

……西村さんが行っている活動について教えてください。

私個人の活動ではなく、自閉症児を持った親があつまり、たとえ障害があっても、かけがえのない一人の人間として尊重され、与えられた能力を積極的に活かし、互いに協力して、生きがいのある生活が出来る場をつくらうと考えています。14年間の運動を経て、32家族が発起人となり、昨年8月に社会福祉法人「おおすぎ」を設立しました。そして今、自閉症者を中心とした人たちが利用する知的障害者更正施設「れんげの里」を、この4月1日に開所するところまでこぎつけました。

……活動をはじめたのはいつですか。

1987年春、自閉症協会父親研究会がありまして、その時の有志が集まり日を改めて親の連帯会、交流目的に5~6名で一杯の会を持ったんです。動機は極めて単純、不純でした(笑)。メンバーの入れ替わりはありましたが、着実に勉強を重ねるとともに、資金づくりを活動の中心に据え、多くの方々の支援をいただきながら活動をしてきました。95年頃から本格的に資金づくりと、土地探しに奔走しました。96年には社会福祉法人「おおすぎ」設立発起人会「翔の会」を23名で発足しました。

……どういった施設を目指したのですか？

人間である以上、自分の望むところで暮らすのがあたりまえのことですが、重い障害のある人には残念ながらそれを保証する制度や施設が十分でなく、生活支援のすべてが家族の肩にかかっているのが現状です。親の願いは、障害をもった人たちが豊かな気持ちで生活できる場、つまり家庭の延長といった雰囲気を持った施設を作りたいということ。それが一番でした。そのためには、まずソフト面では「こころざし」をもった職員に集まってもらうこと、ハード面では

ゆったりとして、プライバシーが守られる建物が必要なんです。……「れんげの里」はこの4月から開所されるとのことですが、そこで自閉症の人たちはどんな風に生活することになるのでしょうか？社会の一員として主体的に生活できるように、10人1グループを家族と見立てて同じ棟で生活します。これを小舎制といいます。部屋はプライバシーを守るため、一人一部屋となっています。先日も建物を見てきましたが、同行の親が「ホテルのようで息子に変わって入りたくらいだ」と言っていました(笑)。このような完全小舎制の施設はまだ少なく行政も注目してもらっています。

……西村さんが活動を始めた動機はやはり、自分のお子さんのことでしょうか？

そうですね。まちがいをなく自分の子どものために動機で、親亡き後の子どものことを考えたら、とにかく自分達が元気なうちに何とかしなくてはという気持ちが本音です。その後、勉強会を重ね、ご支援をいただいた数多くの方々との交流により、広い視点で物事を見られるようになりました。子どものおかげです。

……他のメンバーはいかがですか？

最初の動機は私とほとんど同じだと思います。現在の発起人は32名ですが、比較的症状が軽く、また低年齢のため、今すぐ子どもを入所させなくてもいい親でありながら、「法人の設立理念に賛同します」という方が十数人みえます。発起人というのは寄付など経済的な負担を強いられますから簡単に言えることではないのです。親の考えも周りの人に支えられ、活動していくうちに変わってきたのだと思います。

……活動していくうちに自閉症以外のハンディキャップにも、目が行くようになったのでは？

大宮町親の会の方々との交流ができ、「れんげの里」の設計にも、親の会の要望を反映し、車椅子トイレなどがつくってあります。今のところ「れんげの里」と身体にハンディのある方との施設では法的な基準が違いますから、断言はできませんが、ゆくゆくはショートステイの形で身体にハンディのある方にも利用してもらいたいですね。

## 開設までの道のりと今後の課題

……施設を開設するまでに大変なこともあったのでは？

「れんげの里」開設のメドがついたのは昨年4月頃だったのですが、それまでは気が抜けませんでしたね。というのも、過去2回ほど土地取得がほぼ確定し、法人申請手続きを進めたにも関わらず、ちょっとしたいきちがいで断念したことがあったんです。その時の頭が真っ白になった思いがよぎりました。

……いきちがいというのは自閉症者に対する無理解でしょうか？誤解もありましたね。噂になって拡がってしまったように思います。今思いますと、反対というのはごく一部だったんですね。声無き声はたくさんあって、私達の活動に理解をしていただき、応援もしていただいていたことを後で知った時は嬉しかったですね。あと、母親たちが一軒ずつ足を運んで、根気よく地区の皆さんに理解を求める活動が大きな力になりました。

……理解を求めて歩かれたのですか？

ええ、地区の皆さんに集まっていたいただいて、子どもたちの症状や、地

社会福祉法人おおすぎ 理事  
翔の会(おおすぎ発起人会) 会長

## 西村博機 さんに 聞く



域でどのように関わって生活しているかなどについて、母親が赤裸々に語ってくれたんです。なかには感極まって涙する親もいました。こうした母親の思いが参加者の心を動かし、ある方は「今まで施設建設に反対であったが、お母さんたちの子どもに対する気持ちを聞いて、他人事で無いと思い今日から考えを変える…」その発言がきっかけになって会合の雰囲気が一気に変わったんです。今は地区との定期的な協議会で、意見交換を行い、さまざまな建設的な意見をいただいております。地域に根ざした施設運営を理念にうた

## 活動を通じて多くの方と知り合いました。この出会いは子どもが与えてくれた宝・財産だと思っています。

ておりますので、まさに先取りした姿にあります。

……完成にこぎつけて、力が抜けたのでは？

これからが大変なんです。ランニングコストを考えると、財政面での確立が何よりも大事だと思います。幸いスタッフは精鋭ぞろい、80数名の中から27名の採用ですから。特に施設長、事務長はプロ中のプロです。スタッフが後顧の憂いなく仕事してもらうには、財政面のバックアップ体制をつくるのが次のステージだと思います。施設をつくったことが到達点ではなく、スタートだと認識しています。この法人をもとにグループホームをつくったり、子どもたちや地域の皆さんが関わっていただけるような生産活動をしていきたいんです。今の福祉は上から与えられた措置費などによって運営が成り立っていますが、いつまでもうまい話は続きません。今から一歩でも自立運営できるような仕掛けづくりを考えていくことが、「翔の会」の大きな課題だと思っています。

……在宅でケアするという世の中の流れがありますが？

そのとおりです。私も施設は本来否定されるべきものだと思います。しかしながら、現状はハンディキャップを持つ者を地域で支えていく基盤、支援体制などが確立されていません。疑問を感じながらも、先ほど申しあげた親亡き後のことを考えると、施設をつくらざるをえないと……。だからこそ「こころざし」のある職員と、家庭の延長のようなぬくもりのある建物を大切に考えているんです。

## 子どもが与えてくれた人との出会い

……市民活動のなかで「翔の会」の位置づけをどう考えますか？

「翔の会」は市民活動されている皆さんに助けていただいている立場。14年前に県に相談をした時、言われたのは、土地を取得すること、施設長を探すこと、お金を準備することの3点セットでした。まず何よりもということで資金づくりのためにバザーやフリーマーケット

に参加したんです。その時、商品として人気を集めたのが手づくり品です。しかし、わずか7家族ではたくさん作ることができず困っていました。その時、「手伝いましょう」と言ってくださった方が数名現れたんです。前回、このインタビューに登場された宇仁田さんもその一人。挫折が何度もありましたが、ここまでこられたのも、まわりに多くの方々の支えがあったからこそと思っています。

……支えてくれた方々から、得たものはありますか？

私たちの活動の動機は自分の子どものためでした。でも、支えてくださった方たちは自分のためでもないのに、献身的に支援いただきました。月日を経るごとにありがたみが増していきました。皆さんとのお付き合いの中で、ものの見方や考え方にずいぶん学習させていただいたと思います。自分の子どもから、ハンディを持った人すべてに関心を持つようになった…。その時は考えもしませんでした。今振り返ってみると、間違いなく問題意識は変わっているといます。

……自分の子のためから、みんなのためになった瞬間から、この活動は市民活動になっているのではないのでしょうか？

そう言っていただくとすくわれますね。今回、ご紹介いただいた時に「ウチの会が市民活動団体に該当するのかな？」と思いました。むしろ、その方々に支えられてここまで来たという思いがあったものからです。ただ、お世話になった方々はまさしく市民活動そのもので、精神面、物質面でも非常に助けられました。「れんげの里」は親の力でできたわけじゃなく、その後ろに控えてくれている人たちの後押しが大きかったんです。

……自分たちの活動が市民活動の一角を担っているとは思いませんか？

そこまで認識していませんでしたね(笑)。ただ、たくさんの方に支えていただいていますから、そういう方たちと一緒に活動してきたことが市民活動になるのかもしれない。

……この14年間、忙しい日々だったでしょうね。

途中4年間、東京に単身赴任していたんですが、週末の会合に参加するために毎週帰ってきました(笑)。15,6年前までは、子どもは妻に任せて、男は仕事というスタンスだったんです。でも、ある時期に妻が疲れきって深刻な事態になりました。それで、これではダメだと思い、土・日曜日は子どものために使うと方針転換したんです。幸い、勤務先も活動を理解してくれました。活動を通じて多くの方と知り合いました。この出会いは子どもが与えてくれた宝・財産だと思っています。自閉症の息子がいなければ私は遊びほうけて、今ごろは妻にほうり出されていたかもしれません(笑)。他のメンバーも大なり小なり同じ気持ちではないかと思っています。

社会福祉法人おおすぎ 理事

翔の会(おおすぎ発起人会)会長 西村博機

住所/514-0072 津市小舟904番地の63

Tel.&Fax.059-237-1925

西村博機さんはこの人を **紹介** します。

吉田善三郎(よしだぜんざぶろう)さん

「『れんげの里』開設のために尽力してくださった方です」と西村さんが紹介してくださった吉田さん。蛍の保護活動にも力を入れ、毎年夏には蛍まつりなどのイベントも行っています。



「れんげの里」の完成予想図です。

編集後記

三重県民サービスセンターから発行する最後の市民活動ニュースです。来月からは津駅前のアスト津から様々な情報を皆様にお届けしたいと思います。みなさんのご意見、ご感想、そして、イベントなどの情報をドンドンお待ちしております。

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

R100 古紙100%、白色度70%の紙を使用しています。